

そだてかた せいちゅうへん

カブトムシの育て方【成虫編】

自然のカブトムシはどんなところで暮らしているのかな？

住んでいる場所や食べ物を覚えてカブトムシの暮らしや

すい環境を作ってあげましょう。



カブトムシの暮らしと好きと苦手

自然の暮らし	好き	苦手
ドングリのある林や森 (コナラ・クヌギなど)	日陰で涼しい場所	太陽ギラギラで暑い場所
腐葉土がたまっている土 木の皮や枯れ枝がたくさん	しっとり隠れる場所がある キレイな昆虫マット	カラカラで浅いマット ベトベトしたマット
ドングリから出る樹液	昆虫ゼリーとしっとり果物 (バナナ・リンゴ)	みずっぽい食べ物 (スイカ・メロン)

もう少し詳しく！

暮らしている場所についてですが林や森の中は地面に直接日の光はほとんど当たりません。朝方は薄暗くしっとりし湿度もたくさんでほかの虫たち(スズメバチ・チョウ・ガ・クワガタ・カナブンなど)と樹液を食べあっています。日中暑くなってくると土の中にもぐり休んでいることの方が多いです。ひっくり返ると自力で起き上がることが難しいので小枝や固い木の皮などがつかまります。自然の中には天敵もいます。幼虫はヘビやモグラ、成虫はカラスなどに食べられないように頑張っています。

飼育しているカブトムシはきれいな昆虫マットで飼育しましょう。いつの間にかダニは飼育ケースの中に出てきますが少しのダニなら自然の中で一緒に暮らしているので大丈夫。でも増えすぎてカブトムシにたくさんくっついていたら昆虫マットを新しいものに入れ替えましょう。エサの残りや昆虫マットの湿度など増えすぎた原因があるかも。【昆虫マットにいるダニは昆虫ケースから出たら生きられません。でも死んだものが軽くなってケースから出てしまうこともあるのでケースの周辺や部屋の掃除もこまめにしましょう。】

元気なカブトムシは夏休み終わりまで長生きするよ！

そだてかた ようちゅうへん カブトムシの育て方【幼虫編】

幼虫について

きよねん
去年の夏にメスのカブトムシが土の中に卵を産みました。

秋になると卵からかえり、腐葉土ふようどをたくさん食べて大きくなりました。



小山北桜高校【おやまほくおうこうこう】にはたくさんの木があり、親カブトムシも子供の幼虫もたくさんの食べ物と住みやすい環境のなかで暮らしています。

これから【さなぎ】になり【成虫】に姿が変わっていきます。ケースの中で変わる姿や何日で変わっていくのかをよく観察してください。

観察ポイントと※注意※

- ・最初に幼虫の色が変わっていくよ。
- ・色が変わると【ようしつ】というさなぎになるための部屋を作るよ。
- ・土の中で成虫になります。さなぎから何日かかるかな？



※【ようしつ】を作っているときに触るとうまく成虫になれないよ。※

※羽が固まるまで出てこないからひっぱり出さないでね。※

『おやまほくおうこうこう』のホームページの観察とくらべてね。